

北海道訓子府高等学校

令和4年度第1回学校評議員会及び訓子府町CS高校部会 議事録

日 時 令和4年（2022年）11月22日（火） 18時00分～19時00分

場 所 視聴覚教室

出席者 学校評議員 伊藤幸司 谷口武彦 中塚 保

P T A役員 齊藤麗紗 加藤麻美 菅波亜樹 須藤美穂

本 校 職 員 金森卓紀（校長）野村俊夫（教頭 司会）古川亜樹（事務長 記録）

会次第

1 校長挨拶

2 自己紹介

3 本校の現状・課題について

（1）学校概要及び前期の教育活動について

配付資料に基づき、教頭が説明。学校見学説明会は昨年度より20名多く参加。

（2）中間評価の概要について

配付資料に基づき、教頭が説明。

4 本校の教育活動に対する感想と期待について

A「魅力化プロジェクトは何か取り組みをしているのか。」

B「先日、第1回の魅力化委員会を開催した。スクールバスは大変好評で、その話が北見市内の中学校に伝わって、学校見学者が増えたのではないか。」

教頭「魅力化委員会では、来年度に向けて情報発信をどうしたらいいだろうか、という話し合いがなされたが、個人情報の取り扱いが難しい。」

校長「11月の頭から教育長等と北見・置戸・訓子府の全中学校を訪問した。スクールバスや給食等、訓子府町からの支援が中学校に浸透してきている。また、本校の少人数の丁寧な取り組みが段々と理解されてきている。」

C「置戸高校も留辺蘂高校も小規模校だが、特色を前面に出して、テレビ・ラジオを使って発信している。訓子府高校もクチコミ以外にも広報すれば子どもたちの選択肢が増えると思う。」

D「一定の範囲内でSNSの活用を認めれば、子どもたちへのアピールになるのではないか。」

E「SNS部隊を作って、規制を作って、その中でそういう子たちが発信していく分には学校として問題ないと思う。」

校長「検討する。」

F「道新に留辺蘂高校や置戸高校の行事が載るが、なぜ訓子府高校は載らないのか。」

教頭「道新に情報提供はしている。」

G「昔と今とでは子どもの考え方が異なるため、指導の仕方が難しい。コロナ渦の中で親が学校に行くこともできず、子どもたちの様子もわからないし、教員と話すこともできない。もっと学校と家庭とがコミュニケーションが取れる状態に早くなればいいと思う。」

5 今後の運営計画について

第2回の本会を令和5年2月初旬に開催することを確認した。